

はじめに



私たちが暮らす秋葉区は、里山や二つの大河をはじめとして四季を通じて美しい表情を見せる豊かな自然があり、温かく思いやりあふれるまちです。

現在の区ビジョンでは、「花と緑に囲まれた 笑顔咲きそろう にぎわいのあるまち」を区の将来像に掲げ、その実現を目指しています。

一方で、私たちは地域活動などに大きな影響を及ぼしている人口減少や、一昨年から世界的に流行し生活様式に変更を余儀なくされている新型コロナウイルス感染症への対応など、様々な課題にこれからも向きあっていかな

てはなりません。

こうした課題を地域住民と一緒に取り組む指針として、「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画（2021～2026）」を策定しました。

この計画では「人がつながり ともに支えあう やさしいまち」を基本理念に、これからの私たちが取り組んでいく方針を示しています。行政と社会福祉協議会や地域の諸団体、そして地域住民の皆様とともに、「自助」「互助」「共助」「公助」の視点を大切にして、安心して暮らしていけるまちづくりを進めます。

さらに区役所は、「秋葉区げんき！宣言」を掲げ、自ら元気を出し、その元気を広く発信し、多くの人を元気づけるため、全力で取り組んでまいります。

最後に、計画の策定にあたり、ご審議くださいました推進委員の皆様をはじめ、ご意見をくださいました区民の皆様にも、心からお礼申し上げます。

秋葉区長 夏目 久義



このたび、「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画（2021～2026）」を区役所・社会福祉協議会・地域の皆さんとの協働により策定することができました。

特に地域福祉活動計画（地区別計画）では、地域ごとの福祉懇談会を開催してご意見をまとめました。ご参加いただいた皆さんに心からお礼申し上げます。

本計画は第3期となるものですが、これまで地域の皆さんの積極的な取り組みにより、地域ごとにさまざまな活動が展開されてきています。見守り活動や地域の茶の間・いきいきサロンなどが自治会・町内会、コミュニティ協議会、地区社会福祉協議会、老人クラブ、民生委員児童委員の皆さんなど多様な実施主体によって実践されています。とてもありがたく、そして心強く感じています。

現在、地域のたすけあいを推進する中で「支え合いのしくみづくり」の取り組みとして地域の生活課題の解決に向けた協議をおこなっています。本計画に基づく取り組みを進める中で、こうした仕組みを十分活用していかなければなりません。

「人がつながり ともに支えあう やさしいまち」という将来像を実現するには、一つひとつ身近なところからの実践を積み重ねていくことが大切です。そのために、私ども秋葉区社会福祉協議会は秋葉区役所と連携して、皆さんと一緒に考え、行動して参ります。引き続き皆さんのご支援・ご協力をお願いいたします。

秋葉区社会福祉協議会会長 羽生 隆夫